

このバージョンの新機能

このトピックでは、以前のバージョンでは使用できなかった、ICMLive Operator Client 2021.1に新しく導入された追加機能、改良点を全て説明します。

バージョン番号の変更

他の Innovyze 製品と整合を図るため、バージョン番号が変更となりました。このバージョンは 2021.1 となります。以前のバージョン番号では、11.5 に相当します。

Thales ライセンス

ワークグループエージェントを構築する際、リモートエージェントに対し **Thales** ライセンスタイプを選択できるようになりました。**Thales** オプションは、**Licence type** フィールドに追加されており、選択すると、**Engine size** フィールドが使用可能となります。これにより、**Thales** ライセンスによって計算するノード数や 2D メッシュ要素数を適切に選択できるようになりました。エンジンサイズを選択すると、読み取り専用の **Code** フィールドにそのエンジンコードが表示されます。詳細については、[ジョブエージェントの管理ダイアログ](#) をご覧下さい。

ワークグループマスターデータベースグループ

ワークグループマスターデータベースをグループに割り当てることができるようになりました。ワークグループデータベースを作成する際や開く際に[マスターデータベースを開く](#) ダイアログにて **新規** ボタンをクリックすると、[新規マスターデータベース](#) ウィンドウが表示され、以下の操作が可能となりました：

- マスターデータベースを割り当てるグループの選択、あるいは新規作成
- 新規データベースに対する名前の定義

[マスターデータベースを開く](#) ダイアログに新しく **グループ** フィールドが追加され、既に定義されているグループの一覧から特定のグループを選択することが可能となっています。グループを選択すると、**データベース** フィールド内のドロップダウンリストの項目は、選択されたグループに割り当てられているマスターデータベースの名前のみへと制限されます。

マスターデータベースの作成に関する詳細については [マスターデータベース](#) トピックをご覧ください。

ワークグループマスターデータベースを設定するには、そのデータベースを保存するマシン上に [ワークグループデータサーバー](#) ソフトウェアをインストールし、そのサーバープログラムを Windows のサービスとして実行する必要があります。

